

市民活動を支援する体制の充実

そうま維新
荒秀一議員



問 市民活動支援についての考えを問う。

答 市民と行政が連携する諸活動へ積極的に参加するよう意識の醸成を図っていききたい。

東日本大震災を通じて、相馬市民は多くのボランティアにお世話になり、また同時に様々な市民活動が数多く生まれました。阪神大震災の時はボランティア元年と言われたが、まさしく今は相馬における市民活動元年である。市総合計画の柱には「市民との協働」をうたっている。市民活動を支援する体制を充実すべきである。

解を深めていただき、市民と行政が連携する諸活動へ積極的に参加するよう意識の醸成を図っていききたい。

問 市民活動支援センターを充実させる構想について問う。

答 市は、生涯学習会館のスペースを提供することを目的に市民活動支援センターを設置し、市民活動団体の会議等の場所として無料で貸し出している。

問 市民活動支援についての考えを問う。

答 市民に対し、さまざまな媒体や機会を通し、わかりやすい行政情報の発信を行い、行政への理

市民活動支援センターについて、広く市民に周知するとともに、利用している市民活動団体の意見を踏まえ、より使いや

すい施設となるよう工夫していく。

問 御仕法通りへの市民活動団体情報発信コーナー設置について問う。

答 市政に協力する市民団体のチラシやポスターの掲示などによる活動紹介については、今後検討してまいりたい。

その他の質問

- ・直売施設の充実と計画
- ・減反政策廃止後の農業振興政策

市道及び周辺の整備

問 現在寄せられている市道に関する要望と進捗状況を問う。

答 要望があった道路整備件数は3力年で101件。そのうちの45件が整備完了となっている。

限られた財源、人員の中で必死にやりくりをしている当局の日々の努力に対し敬意を表したいと思う。今回は、市民に身近な市道及び周辺の整備について当局、議会、そして市民との共通認識を深めたいとの思いで何点か伺う。

問 現在寄せられている市道に関する要望と進捗状況について問う。

答 市が行政区長から要望があった道路整備の件数は、3力年の合計件数で101件。整備完了が45件、継続中が7件、今年度着手予定が22件、未着手が27件となっている。

未着手27件の整備については、地域性や予算等を考慮しながら、行政区長との調整の上、効率的に整備をしていきたい。

問 市道の定期点検状況について問う。

答 定期的な道路パトロールでの路面点検や市民からの通報により、路面の異常、通行障害物などの不具合を確認した場合早急に対応している。

また、管理している橋梁340橋について、平成27年度と平成28年度に合計137橋の点検を実施している。このうち、修繕を実施した橋梁は3橋となっている。



そうま維新
根岸利宗議員

問 市道及び側溝、周辺樹木の管理や草刈りについての整備方針を問う。

答 平成28年度は道路拡幅などの道路改良工事が16件、現道舗装や側溝整備などの維持修繕工事25件となっている。

今年度の道路改良工事は9件、維持修繕工事は19件を予定している。

樹木剪定や草刈りの平成28年度の実績は、樹木剪定が11路線、約1、260本で、草刈りが39路線、約42キロメートルとなっている。

その他の質問

- ・市長の政治姿勢
- ・スポーツ推進施策